

あったかトーク

第37号 2021年初夏号

ひぐちのりこ事務所
(青葉区版)
発行人 樋口 典子

1959年仙台市生まれ 管理栄養士 保育士
社民フォーラム市議団
●総務財政常任委員会
●文化芸術・スポーツ振興 調査特別委員会 副委員長
●議会運営委員

第1回定例会

積極的な「未来への投資」へ

仙台市議会第1回定例会は、2月8日から3月12日まで開かれ、2021年度予算をはじめ72件の議案審査を行いました。郡市長が施政方針への所信表明を行い「社会変化を力に変えるまちづくり」「人のつながりが育む豊かな地域づくり」「杜の都の可能性を広げるまちづくり」の3つを市政の柱に据えました。

なお、2月13日の地震で議会本会議場が被災したため、本会議は議会等1階の特別委員会室での開催となりました。

仙台市基本計画・杜の都環境プラン(仙台市環境基本計画)を策定

2021年度から10年を計画期間とする仙台市基本計画と仙台市環境計画



市議団メンバーは、女性参政権運動のシンボルカラーである白を身に付け、2月17日の議会に出席

も審査されました。基本計画では「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」が掲げられました。杜の都環境プランの目指す環境都市像は「杜の恵みを活かした、持続可能なまち」が掲げられ、これらの実現に向けては、「脱炭素都市づくり」、「自然共生都市づくり」、「資源循環都市づくり」、「快適環境都市づくり」、これらに共通する「行動する人づくり」の、5つの分野別の環境施策を推進するとしています。

小学3年生を35人以下学級へ、危機管理局に格上げ

条例案は、コロナ対策などを踏まえて危機管理室を危機管理局に格上げする件、国の小学校の35人以下学級方針に先行して小学3年生に実施することとし、そのための教員などの定数を109人増員する条例案が上程されました。その他、学校の学習用コンピュータを取得する件、教育委員の任命、公安委員・人権擁護委員の推薦に関する件も上程されました。

10年連続の1兆円超え

2021年度の一般会計予算は対前



頻発する地震では、配水管破裂などの被害がありました

年度比6.5%、353億円増の5,764億円、特別会計は3,134億円、企業会計は2,196億円で、総額は10年連続1兆円超えとなりました。

補正予算ではワクチン接種、時短要請に応じた飲食店への支援などが計上、さらに2月13日に発生した福島県沖地震被害に14.4億円(その後、第2回臨時会で2億7600万円が追加)が計上されました。

意見書として「新型コロナウイルスワクチン供給等の適切な実施と事業に要する経費への全額国費による財政措置を求める件」が採択されました。

会派名称が変わりました。引き続きお声をお寄せください。

昨年12月まで、ひぐちのりこの所属会派名は「社民党仙台市議団」でしたが、今年1月から、会派名が「社民フォーラム市議団」となりました。引き続き同じメンバー5名で活動しています。どうぞよろしくお願いたします。コロナ感染症を勘案し、市政報告会やおしゃべり会は休止しますが、ご相談やお困りごと、ご提案などお気軽に事務所へご連絡ください。



●味の素 勝山公園
●七十七銀行 中江→

↑泉方面
石井屋●
丸信精肉店
河北仙販

ひぐちのりこ事務所

↑仙台駅
上杉山通小学校●

ひぐちのりこ事務所
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマヴェーラ杜王101
TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172
セブンイレブン側からお入り下さい。
お気軽にお立ち寄り下さい!

ひぐちのりこ 東奔西走!

1月21日、2月22日、4月21日 総務財政常任委員会で質問

実食3 カレーライス

備蓄食料はアレルギーに対応
※クラッカーは除く



せんだいtubeおりはらアドバイザーの3分間防災ちゃんねる「避難所の備蓄食料★作って食べてみた」より

1月21日は、新型コロナウイルス感染症への対応などを踏まえた対策の見直しや、国において避難情報の見直しが検討されることもあり、法改正等を踏まえて必要な見直しを行うために仙台市地域防災計画の主な修正事項が示されました。仙台市ハザードマップ閲覧向上の啓発を求め、避難訓練などをはじめ、多様な機会をとらえて知らせる。またアプリやネットでの広報について質

し、必要なものと受け止めておりさらに進めるとの答えでした。

2月22日はまち・ひと・しごと創生総合戦略の次期計画の中間案でのSDGsの視点の活かし方について質問しました。

4月21日は、仙台市地域防災リーダー(SBL)での女性および若い年齢層の参画状況と受け止めについて質し、さまざまな場面において、地域の防災活動に対する女性の参画促進に努め、地域の災害対応力を強化していきたいとの答えでした。

また、指定避難所におけるアレルギー食品備蓄状況と広報について、アレルギー用のミルクの備蓄状況について質し、指定避難所での備蓄食品はクラッカーを除いて、アレルギー対応である。アレルギー用ミルクは各区役所・支所に備蓄をしている。さらに備蓄食品の内容については、質問後仙台市HPに掲載されました。液体ミルクや使い捨て哺乳瓶については、必要の際に、民間事業者との間で締結している災害協定を活用し、これら調達を業者から行うとのことでした。

3月1日 予算等審査特別委員会で質疑

◆保育士等の処遇改善

私立認可保育所での保育材料費などの一般生活費について31か所が国基準を下回っており、指導すべきと質し、保育の質を確保するために必要な要素であることから、必要に応じて助言等を行うとの答弁でした。保育士等への処遇改善加算について職員間の公平性や賃金バランスから申請を見送った事例もあることから、国に対し平等性を担保するよう要望をすることを求めました。



新型コロナでの自宅療養者支援物資(イメージ)

財務諸表が未提出の保育所について提出を強く求めるよう質し、指導を強めると答えました。国から常勤保育士を短時間保育士にかえる規制緩和も

示されているが、規制緩和をやめるべきと求め、常勤保育士の配置基準をすみやかに変える予定はしていないとの答弁でした。

◆自宅療養者の栄養改善

新型コロナ感染者で、自宅療養となった方に対する支援物資で、必要カロリーの確保など栄養バランス面での改善や減塩について、さらに食べ方のアイデアなど同封物の工夫について質し、検討すると答えました。また災害食での産学連携の推進についても質問し、さまざまな団体と連携を深めながら不断の取り組みを進めたいとの答弁でした。



お願い

「ひぐちのりこ市議会ニュースレター」を郵送でお届けしている方につきましては、発行側の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付されるなど、ご迷惑をおかけすることもございます。その際には情報をお寄せくださいますようお願いいたします。なお、お名前や住所などの誤字や訂正などがありましたら併せてお知らせ頂きますよう、お願い申し上げます。

皆さんの声を聴いて、市政へ!



3月25日

仙台市高砂学校 給食センター視察



2月13日の福島沖地震および3月20日の宮城県沖を震源とする地震により、天井部材の落下などの被害があった仙台市高砂学校給食センターの調査をしました。

2月の地震の後は1週間、3月は週明けの22日のみ給食が停止(23日以降は春休みのため給食の提供はなし)されました。被害の状況やその後の復旧、給食を停止した際の対応などについて施設長はじめ担当課より話を聞いたのちに、見学通路からセンター内を視察しました。

4月2日

新型コロナウイルス感染症対策 および市民のいのちと暮らしを守る施策の 拡充に関する申し入れ

社民フォーラム市議団がコロナ対策で市長に申し入れをしました。PCR検査体制の拡充、変異ウイルス株対策、医療崩壊を防ぐためにも専門病床の確保、地域経済への影響を避ける迅速な実効性のある支援策など7課題20項目を求めました。市長は要望をしっかり受け止め施策に活かしていくとの考えを示しました。



4月16日

新型コロナウイルス感染症関連補正予算等 審査特別委員会



3月からの緊急事態宣言下で、さらに「まん延防止等重点措置」が本市に適用されたことに伴い、子育て世帯に特別給付金および高齢者等入所施設職員等への検査、また2月13日の福島県沖

地震で被害を受けた施設等に対する補正予算等について、4月15日～16日第2回臨時議会が開かれました。

16日に行われた新型コロナウイルス感染症関連補正予算等審査特別委員会で、ひぐちのりこは飲食店従業員へのPCR検査について聞き、検査は4万人としているが、8万人までの費用を見込んでいる。想定以上になった場合も予算確保の必要性も含め検討をしているとの答弁でした。また飲食店等利用者が登録をし、感染者情報をメールで知らせる「宮城お知らせコロナアプリ(MICA)」の啓発、不具合があった厚労省のスマホ用アプリCOCOAの改善を国に求めること、ひとり親家庭における職業訓練メニューの情報提供、コロナ禍での市民への心身サポートについても質しました。

ひぐちのりこ 主な活動日誌

1月5日	仙台市議会第1回臨時会	4月16日	新型コロナウイルス感染症関連補正予算等審査特別委員会
2月8日～3月12日	仙台市議会第1回定例会	4月17日	東北アライ議員ネットワーク会議
3月11日	東日本大震災仙台市追悼式	4月17日	公開講座「同姓/別姓を選ぶ権利—市民と学術の対話から」
3月18日	文化芸術・スポーツ振興 調査特別委員会	4月23日	文化芸術・スポーツ振興 調査特別委員会
3月24日	議会運営委員会	4月26日	議会ICT化推進検討会議
4月5日	第8回仙台市議会災害対策会議	5月18日	議会ICT化推進検討会議
4月7日	第5次男女共同参画基本計画について女子差別撤廃委員会アクション勉強会	5月19日	文化芸術・スポーツ振興 調査特別委員会
4月13日～16日	議会運営委員会		
4月16日	新型コロナウイルス感染症関連補正予算等審査特別委員会		

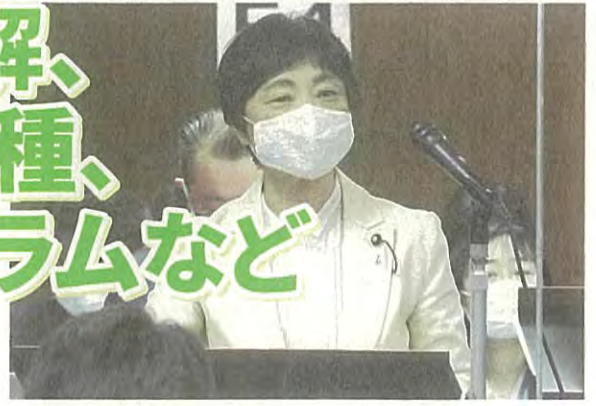
●●● これからの主な予定 ●●●

5月21日 総務財政常任委員会

6月1日 議会運営委員会

6月8日～23日 仙台市議会第2回定例会

女性蔑視発言への見解、 新型コロナウイルスワクチン接種、 DV加害者教育プログラムなど 一般質問(2月17日)



多様性を力に変えることができるまちづくり

東京オリ・パラ組織委員会の森喜朗前会長の「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」などの女性差別発言に対する「#わきまえない女」での抗議や女性蔑視はいけないと報道されたことは大きな社会変化の一つであるが、このことにつ

いての市長への見解を求め、真の

男女平等社会の実現に向けた大きな動きとして、心強く思っている。一人ひとりが持つ多

様性を、社会全体がより良い方向へ進むための力に変えることができるまちづくりに取り組んでいきたいと答えました。

新型コロナウイルス ワクチン接種

ワクチン接種は多くの対象者と高い難易度が求められ、その業務量は東日本大震災後の復旧・復興に匹敵するものではないかと思われるが、本市の受け止めと決意について質疑、接種を受ける方への案内や会場の手配、また従事者の確保に始まり、予約やワクチンの管理、配送に至るまで、極めて大規模で複雑なオペレーションを、円滑に進めていかなくてはならない。仙台市医師会をはじめとする関係団体や民間事業者の方々の協力を得ながら、これまでに例のない規模の事業と向き合い、取り組んで行きたいとの答弁でした。

DV加害者教育プログラム

2020年度から国の事業として地方公共団体と民間団体が連携してDV加害者プログラムを実施し、さらに取り組む自治体の追加が予定され

ていることから、仙台市でも取り組むよう求め、DVへの対応では、加害者の暴力そのものを抑止することの難しさが課題のひとつとなっている。こうしたことから、国が中心となり、自治体や民間団体との連携のもと、加害者の更生に向けたプログラムの試行や効果に関する検証が進められている。本市としてもDV加害者を対象とした取り組みを今後進められるよう、必要な対応を図っていきたいと答えました。

その他、勾当台公園内の分煙社会実験(その後、実験そのものが中止)、配慮が必要な方へのワクチン接種や周知について、副反応に起因する被害の救済、デジタル化推進におけるジェンダー平等の視点などについて質問しました。



AIの音声アシスタントの初期設定は女性の声となっていることで、女性は愛想が良く従順で、命令するだけで利用できるという概念を固定させるとユニセフは警鐘を鳴らしている

市議会ひぐちコラム

「ICT化推進検討会議」が 昨年3月よりスタート!!

市議会でのペーパーレス化、事務の効率化などを目的とする「ICT化推進検討会議」が昨年3月からスタートし、私は会派代表として十数回の論議を重ねました。11月には議長への中問案の提出がなされ、使用基準も具体化される中、6月の第2回定例会から議員のタブレット使用が決まりました。詳細については走りながら決定する課題もあるでしょうが、新たなステージに向けて全議員向けの研修も予定されています。

ホーム
ページ

<http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

ひぐち
ブログ

<http://nohiguchi.jugem.jp/>

ツイッター

twitter アカウント名
#nohiguchi

Facebook

facebook ページ

<http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



QRコード

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172